

研究成果展開事業

先端計測分析技術・機器開発プログラム (平成24年度の要求の姿(案))

平成24年度概算要求額: 調整中
平成23年度予算額 : 4.2億円

背景

- 計測分析技術・機器は、世界最先端の独創的な研究開発成果を創出するための重要なキーテクノロジーであり、共通的な研究開発基盤。**第4期科学技術基本計画においても計測分析技術・機器開発の重要性が明記。**
- 世界各国が戦略的な投資を実施する中、我が国でも最先端かつ優れた計測分析技術・機器の開発・普及を推進することが不可欠。
- 震災からの復旧・復興**や、**グリーンイノベーションの推進**等の政策課題、社会的課題に対応するため、本プログラムの貢献が期待。

概要

- 革新的な要素技術開発、機器開発や、実用化・研究開発現場への普及を目指すプロトタイプ機の性能実証等を推進。イノベーション創出の一層の加速を図るため、**プログラムの推進・評価体制を再構築するとともに、新規公募に関しては、実用化までを見据え研究開発ターゲットを明確化。**
- 平成24年度は、大気、土壌、食品中の放射線量の高精度な計測分析等に必要な技術・機器開発として**「東日本大震災からの復興、成長への貢献」**、蓄電池・燃料電池等の研究開発に必要な技術・機器開発として**「グリーンイノベーション」の2つの重点領域を設定。**
- 「知的創造プラットフォーム」の構築に向け、本プログラムの**研究成果(プロトタイプ機)を活用しつつ、被災地における研究開発を加速。**

各種基礎研究等

